



## さあ、みんなで集まろう、出かけよう!! 小河内区ショッピングデイサービス

ショッピングデイサービスとは介護保険制度・生活支援体制整備事業の取り組みの一つとして三朝町から受託して社協が行っているものです。公民館に集まり皆で体操をして、マイクロバスに乗って買い物に出かけます。買い物は原則町内事業所を利用していますが、衣替えの時期は衣料品を求めて町外に出ることもあります。

令和7年4月末現在で小河内、吉田、坂本、片柴、下畑の5カ所で毎月1回実施しています。同じ集落、地域で暮らす皆さんの集まる機会、一緒に出かける機会として活用いただいています。6ページの「話を聴かせて」には小河内区の参加者が登場。ショッピングデイの感想やこれからの暮らしについて語りました。

三朝町社会福祉協議会広報誌

# 福祉みささ

第211号

2025年5月1日

# 令和7年度 事業計画

事業計画及び一般会計予算についての詳細資料は、三朝町社会福祉協議会のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。「三朝町社協」で検索、または [www.misasa-syakyo.or.jp/](http://www.misasa-syakyo.or.jp/) を入力してください。

- ## 重点事項
1. 小地域福祉活動推進体制の強化
  2. 相談支援活動の強化
  3. 在宅福祉サービスの充実

## 主な事業・活動の内容

### 法人運営・広報活動

運営体制を強化し、信頼される法人運営に努めます。

- ・理事会、評議員会、監事会の開催
- ・適正な会計事務、庶務全般
- ・広報誌「福祉みささ」の発行
- ・福祉大会の開催

### 地域福祉活動の推進

地域における住民主体の支え合いを推進します。

- ・集落福祉推進支援
- ・愛の輪運動
- ・ふれあい配食サービス
- ・福祉関係者合同研修会
- ・生活支援体制整備事業(町受託)
- ・いきいきサロン事業(町受託)
- ・ショッピングデイサービス事業(町受託)
- ・地区別高齢者交流会の開催

### 相談支援の推進

困りごとの相談を受けて、安心できる暮らしのお手伝いをします。

- ・総合相談所の開設
- ・福祉資金の貸付
- ・成年後見法人受任
- ・日常生活自立支援事業(県社協受託)
- ・生活困窮者自立支援事業(県受託)
- ・ひきこもり支援

### ボランティア活動・福祉教育の推進

「ボランティア・福祉の心」の醸成を目指します。

- ・ボランティアセンターの運営
- ・ボランティア団体助成
- ・介護支援ボランティア事業
- ・ボランティアスクールの開設
- ・小中学生デイサービス交流
- ・福祉教育助成

### 介護保険、障がい者総合支援事業

「住み慣れた地域で安心してずっと暮らせる」を目指します。

- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業
- ・通所介護事業
- ・障害者居宅介護事業
- ・障害者地域生活支援事業
- ・重度障がい児者医療型ショートステイ整備等事業(県補助)

### その他受託事業

- ・外出支援事業(町受託)
- ・産後ヘルパー事業(町受託)
- ・配食サービス事業(町受託)

### 三朝町立福祉センターの管理運営

## 令和7年度 予 算

収入科目	予算額	内容	支出科目	予算額	内容
会 費	3,160,000	一般会費、賛助会費、特別会費	法人運営事業	9,084,000	運営事務費、会議費、役員研修費 等
寄 付 金	1,500,000	香典返し寄付、一般寄付	地域福祉事業	16,632,000	ボランティアセンター事業、愛の輪運動+後見
補 助 金	31,122,000	町(福祉事業及び施設管理)、県社協	共同募金事業	2,257,000	広報事業、福祉団体・ボランティア助成 等
受 託 金	30,726,000	町、県社協、県	介護サービス	86,610,000	介護保険事業、障がい福祉事業
共同募金配分金	2,207,000	赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金	町受託事業	18,803,000	サロン事業、配食サービス事業、外出支援事業 等
介護サービス費	80,667,000	介護保険事業、障がい福祉事業	県、県社協受託事業	9,439,000	生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業
事業収入	1,496,000	入浴料等の事業利用料	施設管理事業	15,466,000	福祉センター管理運営費
基金取崩	824,000	備品等購入基金	そ の 他	25,396,000	繰越金
そ の 他	31,985,000	預金利息、繰越金			
収入合計	183,687,000		支出合計	183,687,000	



DVDを見て支え愛マップへの理解を深めます

支え愛マップとは、災害避難時に誰かの手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先などの情報が書き込まれた地図のことです。災害避難時を「きっかけ」として、

支え愛マップづくりによる集落での支え合い体制構築  
 ・集落福祉学習会等の開催  
 ・集落サロン等の実施推進  
 ・集落役員会との連携  
 等があります。本号では支え愛マップづくりについて紹介します。

この事業は「重点事項1・小地域福祉活動推進体制の強化」を進めるための要となるものです。

**主な取り組みとしては**

# 令和7年度 推しの事業

# 集落福祉推進支援

地域のことに於いて皆さんで話し合う中で「日ごろからのつながり、支え合い」を考えることを目的としています。

- 支え愛マップづくりの流れは次のようになっています。
1. まずは社会福祉協議会に相談
  2. 支え愛マップづくりの説明・自治会での打ち合わせ
  3. 地域のみんなで「支え愛マップ」づくり

- (1) 支え愛マップの説明
  - (2) 集落内の気になるところを確認(まちあるき)
  - (3) マップづくり
  - (4) ふりかえり
4. 「支え愛マップ」の活用
- (1) 見守り活動・支え愛活動
  - (2) 地域支え愛会議
  - (3) 避難訓練

令和7年3月9日に支え愛マップづくりを行った今泉区長 藤原彰二さんの感想です。

「地元住民から、支え愛マップ作製を含めた防災計画の見直しが必要ではないかという声があり、今回の研修会を行うことになりましたが、



子どもも参加して世代間交流

32世帯中25世帯33人が集まりました。多くの住民が集まることに意義があると聞いていましたので、多くのみなさんに集まってもらえたことはとてもよかったですと思っています。住民同士が膝を交えて話し合い、いざという時にどのように行動するのかなど具体的な話ができてとても盛り上がり上がっていました。三朝町社会福祉協議会のみなさんには大変お世話になりました、このような意義のある研修会ができたことをうれしく思います。ありがとうございます。」

ぜひ、支え愛マップそして集落福祉推進支援事業を集落での「話し合う場づくり」に活用してください。

# 「愛の輪運動」

## にご理解とご協力を

三朝町社会福祉協議会では、見守りが必要となった高齢者等に対して、普段からお付き合いのある近隣の人に訪問員になってもらい、日々の安否確認を行う「愛の輪運動」を推進しています。

### Qどのような人が対象になる？

A おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がい者世帯などで日常生活に不安を抱える人です。

### Q訪問員はどんな人？

A 地区の民生委員と相談し、本人にとって適任と思われる人に依頼します。ご近所の気の合う人などをお願いする場合があります。

### Q見守り活動の内容は？

A 日頃のお付き合いの延長として定期的に訪問を行ったり、新聞や郵便物が取り込まれているかやカーテンが開け閉めされているかなど、日常生活での声かけや安否確認をしてもらいます。



### Q訪問員だけが見守りをする？

A 愛の輪訪問員だけでなく、ご近所の人にもさりげない見守りをお願いします。

## 社協の人財

### インタビュー



総務課長  
松田 進

#### ・所属と勤務年数を教えてください。

平成8年に奉職して勤続29年になります。デイサービスの介助員として採用され、介護福祉士や介護支援専門員の資格を取得して介護保険事業に携わってきました。平成27年からは総務課で地域福祉事業などを担当しています。

#### ・具体的な仕事内容を教えてください。

主として介護支援専門員としての経験を活かして、生活困窮や権利擁護など福祉的課題を抱える人の相談対応や個別支援をしています。また、各集落や地域での福祉活動の推進も担当し、特に支え愛マップの取組みに力を入れていきます。その他、集落サロンの進行役や他機関関係者との会議を調整するなどとして、長年務めているので手広くやらしてもらっています。

#### ・仕事におけるやりがいは何ですか。

「福祉」という単語はわが国では

近代になってから広まったものですが、欧米の概念を取り入れていく中で「広く幸福を追求すること」と意識されることもあります。三朝町社協が行う事業を通じて介護や障がいや困窮支援、ボランティア活動や募金運動など福祉の様々な分野に携わることで、学びを積み重ねたことをやりがいを感じています。

#### ・目指す理想像を教えてください。

わたしが社会人になったのと同じころにバブルが崩壊して、その後の雇用情勢悪化や大災害や世界的金融危機やテロ紛争など国内外のいろんな状況情報に触れてきましたが、幸いにも細く長く生きて来られました。しかし、わたしたちが住んでいる地域が今後大きな災害に遭わないとは言いきれませんが、経済や環境などの国内外の変動がこれまでからは想像できない形でわたしたちの生活に影響を与えるのではないかと心配します。そうなった時に、今の「町」や「集落」での支え合いがより強くあれば、わたしたちは広い意味での「幸福」を失わずに済むのではないかと思っています。

# レクリエーション用品等の貸出について

三朝町社会福祉協議会では集落や地区での行事用にレクリエーションの用具、テント・椅子やバーベキューコンロ等の貸し出しを行っています。

使用にあたっては、事前にお申し込みください。なお、運搬は使用者で行うようお願いいたします。

## 【レクリエーション・イベント用品】

輪投げ、パットゲーム、バグー 等	各500円/日
テント、パイプいす、長机	無料
バーベキューコンロ、鉄板、大鍋	各500円/日
ポップコーン機、綿菓子機、炊き出し用大鍋	各1,000円/日

## 【福祉用品】

車いす

500円/月

(短期間の貸出は無料)



## 総合相談のお知らせ

相談の区分	担当者	相談日	相談時間	場所/電話番号
人権に関する相談	人権擁護委員	社協窓口にて随時受付、各相談員へ引き継ぐ	8:30～17:00	三朝町立福祉センター ☎43-3388
子育てに関する相談	主任児童委員			
行政に関する相談	行政相談員			
心配事に関する相談	総合相談所相談員			
介護に関する相談	介護支援専門員			
生活の困窮などに関する相談	社協担当専門員			

行政相談については毎月第3水曜日に相談窓口を開設しています。時間 9:00～12:00

開設日	開設場所	開設日	開設場所	相談電話
5月14日(水)	文化ホール	10月15日(水)	福祉センター	三朝町立福祉センター ☎43-3388 三朝町総合文化ホール ☎43-3512
6月18日(水)	福祉センター	11月19日(水)	文化ホール	
7月16日(水)	文化ホール	12月17日(水)	福祉センター	
8月20日(水)	福祉センター	1月21日(水)	文化ホール	
9月17日(水)	文化ホール	2月18日(水)	福祉センター	
		3月18日(水)	文化ホール	

## 《寄付紹介》

〜ありがとうございました〜

### ◆香典返し寄付者

吉田	竹部いづ美様 (故寿賀男様)	金一封
西尾	朝倉 正弘様 (故八重子様)	金一封
本泉	井田 尚廣様 (故好廣様)	金一封
大瀬	野上 隆治様 (故和子様)	金一封
木地山	小椋コノエ様 (故忠様)	金一封
鎌田	谷口 宏行様 (故諭様)	金一封
本泉	山西 裕祐様 (故悦子様)	金一封
大瀬	小椋 治様 (故照三様)	金一封
坂本	鳥越紀一郎様 (故文枝様)	金一封
山田	松原 敏郎様 (故道江様)	金一封
小河内	水田一二美様 (故遠藤富彦様)	金一封
	故相見昌幸様 御兄妹一同様	十万円
西小鹿	尾崎 一男様 (故憲子様)	金一封
加谷	藤原三千雄様 (故邦子様)	金一封
助谷	宮本 正紀様 (故修様)	金一封

※寄付者及び寄付金額の記載は、寄付者ご本人の了解をいただいています。なお、金一封の記載は金額の多少に関わらず、寄付者ご本人の意思によるものです。

# 話を聴かせて



小河内区の皆さん

## 一丸3年

小河内区でショッピングデイサービスに取り組みだしてから三年経ち、今年4年目になります。もうそんなになるかなと感じます。大雪になって中止にする連絡が行き届かなくて、待ちぼうけをしたりとか、年間予定お知らせチラシの配布が5月になって、4月の実施日がわからなかったり等いろいろありました。

**（職員）**その節は申し訳ございませんでした。

**（笑）**いろいろありましたけど、ショッピングデイに出るのはやはり楽しいです。皆に会える、顔を見る

ことができるのがうれしいです。近所に住んでいても、しばらく会わないなんてことはよくありますから、定期的に会えるのはやはりいいです。買い物するにしても、一人で運転して買い物に出かけると話がないです。すけど、ショッピングデイだと誰かと食材の調理方法や味付けの話なんかをして、野菜を買うのも楽しくなります。

## 一声をかけ合う

ショッピングデイの日が近くなつた時も電話で誘い合ったり、欠席の



湯けむり体操ラ・ドン！を行います



一緒に服を品定め

連絡をしたりしていますが、ショッピングデイ当日に会ったら、「地域協議会の高勢力フェがあるから一緒に出よう」とか「総事はいついつだよ」と声をかけ合っています。それぞれ都合があったりするので、全と一緒に参加というわけにはいきませんが、なるべく皆で集まる機会を作っていきたいと思います。昨年には小河内区健康相談の日を利用して余部鉄橋まで日帰り旅行をしました。今年はどこに行こうか今から考えるのが楽しいです。

## 一買い物。とくし丸への感謝

今は自分で買い物できる、家族がしてくれる人がほとんどで何とかなっていないと考えると考えると多少の不安がやはりあります。ショッピングデイは皆と集まれて楽しい取り組み

みですが、月に1回ですので買い物することを考えると、毎週来てくれる「とくし丸」の存在がありがたいです。ショッピングデイやとくし丸の必要性を通じて、買い物そして生活全般のことを集落や地域で考えていくことが大事なのもかもしれません。

## 一丸の暮らのかんたん

家において庭の梅が咲いた、ウグイスが来たと季節の移ろいを感じることに小さな幸せを感じます。それを「うちにもウグイスが来た」と誰かと一緒に話すことも幸せの一つのように思います。こういった小さな幸せを大事にしながら、これからも暮らしていけたらいいと思います。



買い物終わりに喫茶コーナーで